

JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第3回」  
学習・教育到達目標の評価法設計に関するワークショップ  
ーPBLを用いたエンジニアリング・デザイン能力の育成に焦点を当ててー

【プログラム】

- 9:30 受付開始 指定座席（4人ずつのグループ）に着席  
10:00 開会の挨拶  
10:05 「エンジニアリング・デザイン教育について」の講義  
大阪大学名誉教授 大中逸雄

「発展途上国の山間の村での畑への給水問題」に関する例題PBLを対象としたグループワーク  
司会：東京電機大学 特別専任教授 工藤一彦

- 10:30 ・自己紹介（アイスブレイク）  
10:50 「PBLにおける学習到達度の評価法」の講義  
11:30 ・資料学習（本日のワークショップでやることをグループメンバーで確認し、  
事前に学んで来たこと、疑問点等をメンバー内で討論・共有する）  
・目標評価項目としての各行動特性の評価対象、評価時期、評価者を表3（WS教材）  
のシラバスに記入  
12:30 昼食  
13:10 全体討議 午前中の作業の報告と共有（4件程度の発表と講評）  
14:10 「ルーブリックのつくりかた」の講義  
14:50 ・行動特性評価用のルーブリック作成  
16:30 全体討議 ルーブリックの内容（4件程度の発表と講評）  
17:30 総括・質疑応答  
18:00 終了

ファシリテータ（順不同）

笥 捷彦（早稲田大学）、工藤一彦（東京電機大学）、三木哲也（電気通信大学）、  
牧野光則（中央大学）、野口博（工学院大学）、市坪 誠（国立高等専門学校機構）、  
長原礼宗（東京電機大学）、大石加奈子（東北工業大学）

注：※開始、終了時間以外の途中の時間は多少前後する可能性があります。

※都合により時間が一部変更になることがありますので予めご了承ください。

※グループワーク題材につきましては、参加者には事前にファイルをお送りしますので、一読され、「Ⅲ. 本研修でやること」について腹案を考えてきて下さい。その際に生じた疑問点はメモして、当日のグループワークの際にグループのメンバーおよびファシリテータに質問してください。

※プロジェクターで発表いただく予定ですので、パソコンを持参して頂ければ幸甚です。

（参加者に配布の教材）

1. 研修で対象とするPBLとその教育目標（ワークショップの題材）
2. 学習教育到達目標の達成度評価法（1）：PBLにおける学習到達度の評価法（解説）
3. 学習教育到達目標の達成度評価法（2）：ルーブリックのつくりかた（解説）
4. VALUEルーブリック和訳（参照用ルーブリック：資料）
5. 学習・教育に関する達成目標の評価方法（解説）

以上